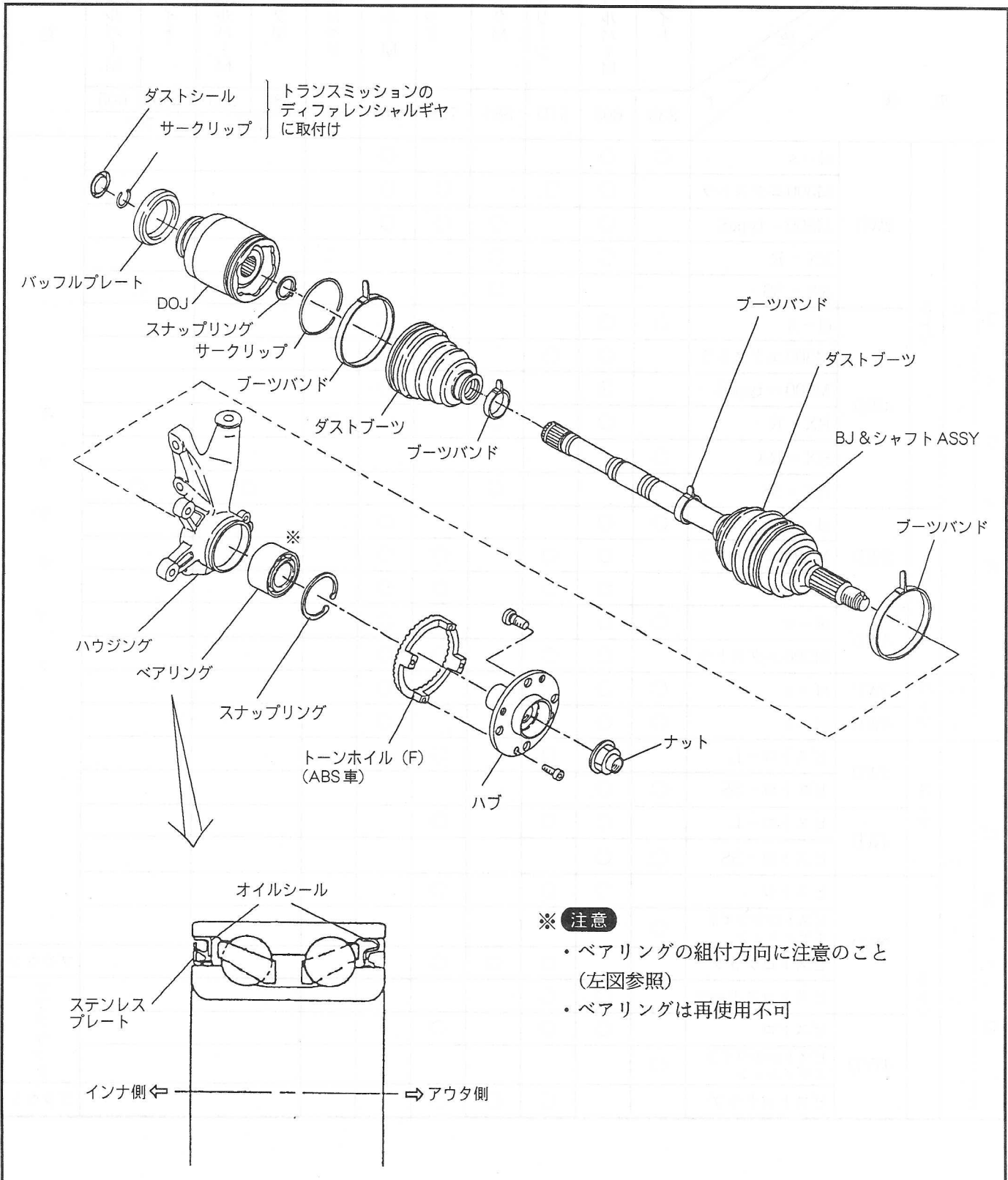


6. 整備編

6-1 ドライブシステム&アクスル

[1] フロントアクスル

■構成部品



※ 注意

- ベアリングの組付方向に注意のこと
(左図参照)
- ベアリングは再使用不可

■ 整備要領

分 解

- (1) 特殊工具ハブスタンドを使用してハウジングおよびハブ ASSY を支持する。

(S T) 927080000 ハブスタンド

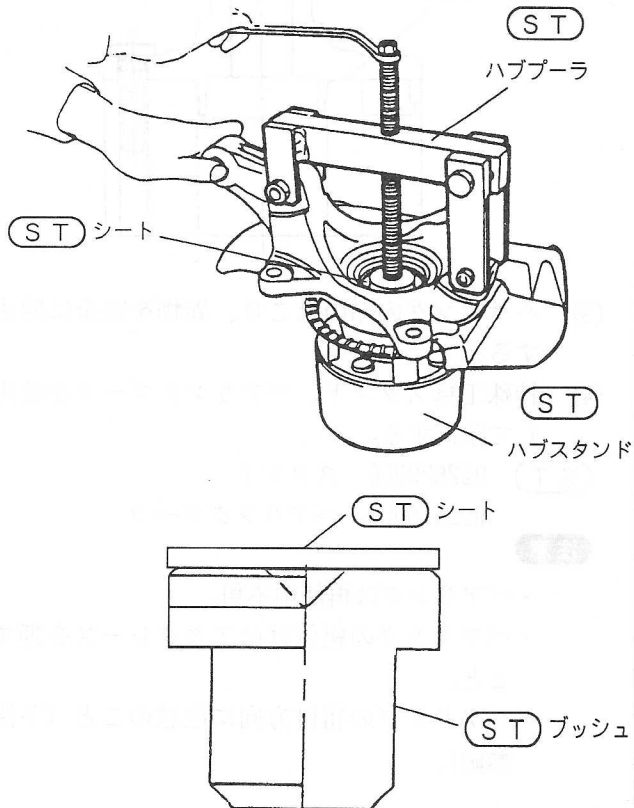
- (2) 特殊工具ハブプーラ、ブッシュおよびシートを使用し、ハウジングからハブ COMPL を外す。

(S T) 28099 KC000 ハブプーラ

28099 KC040 ブッシュ

(922590000) シート (922590000の子部品)

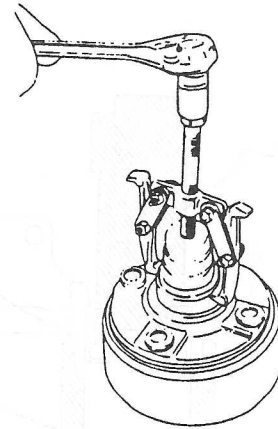
注意 ハブの研磨部分を傷付けないこと。



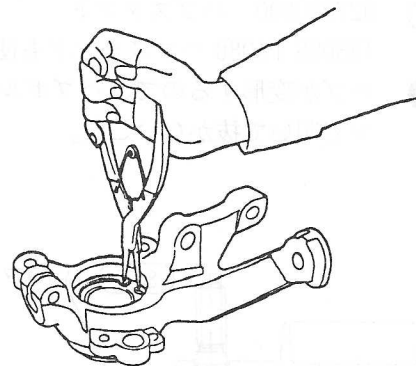
- (3) ベアリングのインナレースがハブに残った場合は市販工具を使って外す。

注意

・ハブの研磨部分を傷付けないこと。



- (4) ディスクカバーをハウジングから取外す。
(5) スナッピングをスナッピングプライヤで取外す。



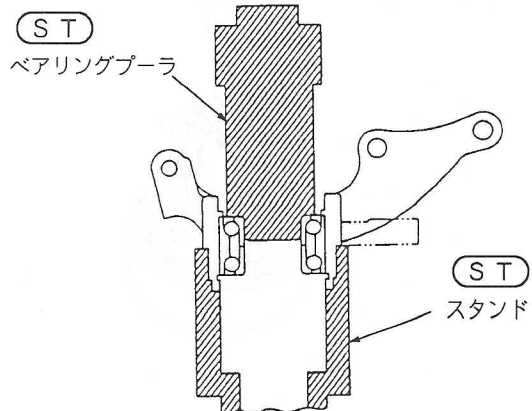
分解

- (6) 特殊工具ハウジングスタンドを使用してハウジング支持する。

(ST) 922620000 スタンド

- (7) 特殊工具ベアリングプーラを使用し、インナレースを押してベアリングを外す。

(ST) 922610000 ベアリングプーラ

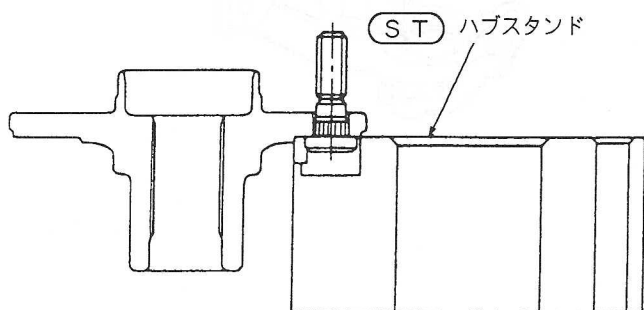


- (8) 特殊工具ハブスタンドを使用し、ハブボルトをプレスで押抜く。

(ST) 927080000 ハブスタンド

(28099 PA080 ハブスタンドも使用可)

注意 ハブが変形するので、ハブボルトはハンマで叩いて抜かないこと。



組立て

- (1) ハブCOMPLを特殊工具ハブスタンドにセットする。

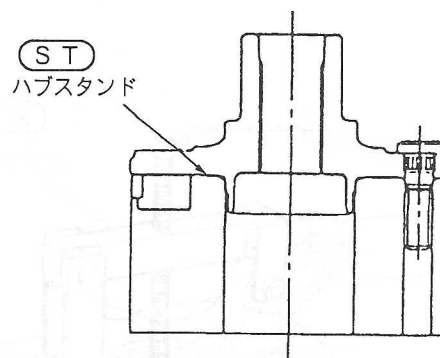
(ST) 927080000 ハブスタンド

(28099 PA080 ハブスタンドも使用可)

- (2) 新品のハブボルトをプレスで圧入する。

注意

- ・ハブボルトの倒れを規制する為、ハブスタンドの12mm穴を使用する。
- ・ハブボルトは座面がハブに密着するまで圧入する。



- (3) ハウジング内部のほこり、異物を完全に除去する。

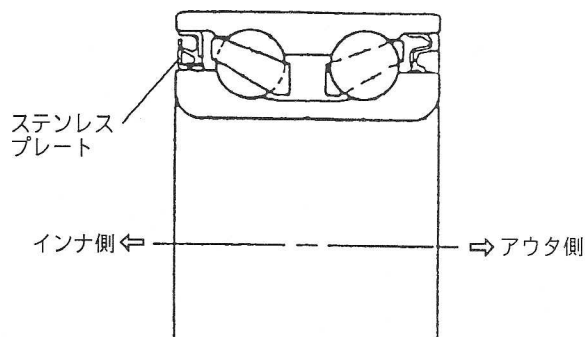
- (4) 特殊工具スタンド、ベアリングプーラを使用して圧入する。

(ST) 922620000 スタンド

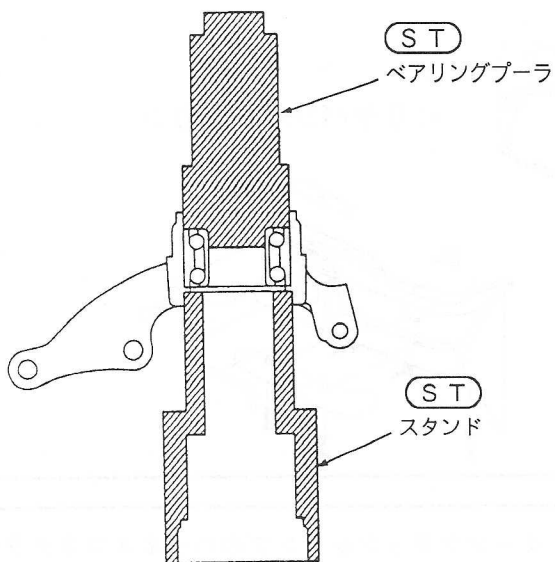
922610000 ベアリングプーラ

注意

- ・ベアリングは再使用不可。
- ・ベアリングの組付けはアウトレースを押すこと。
- ・ベアリングの組付方向に注意のこと（下図参照）。



組立て



- (5) スナップリングを組付ける。

注意 溝部に完全に組み付けられていることを確認する。

- (6) ディスクカバーをハウジングに取付ける。

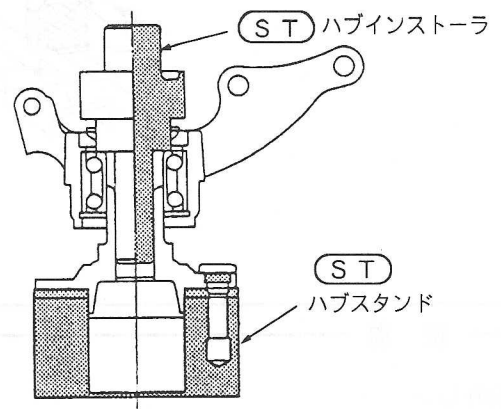
T $25 \pm 7 \text{ N}\cdot\text{m}$ [$2.5 \pm 0.7 \text{ kg}\cdot\text{m}$]

- (7) ハブCOMPLを特殊工具ハブスタンドにセットしハブの研磨面のほこり、異物を完全に除去する。

(ST) 927080000 ハブスタンド

- (8) 特殊工具ハブインストーラを使用し、ベアリングをハブに圧入する。

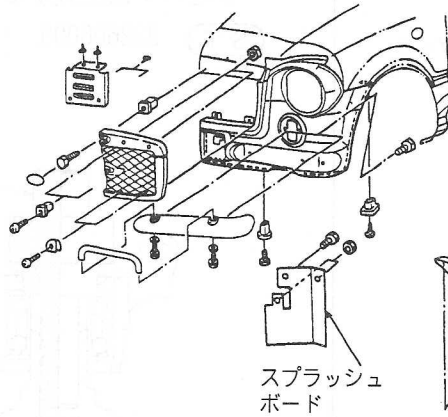
(ST) 922600000 ハブインストーラ



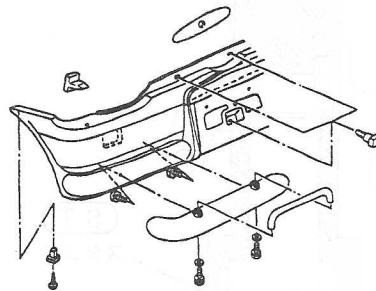
6-2 フロントバンパー（クラシック車） ■整備要領

構成部品

<フロントバンパー廻り>



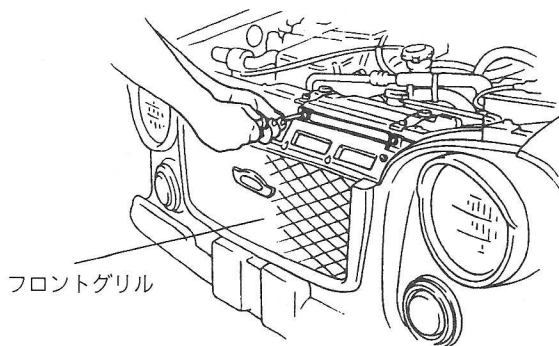
<リヤバンパー廻り>



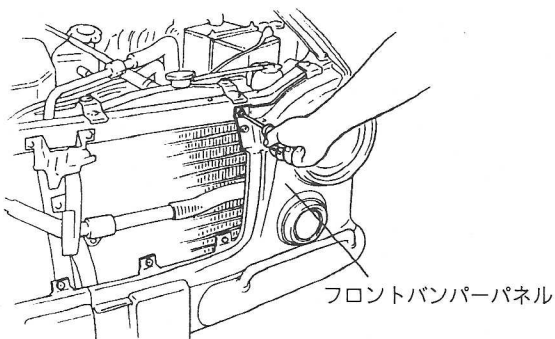
脱着

<取外し>

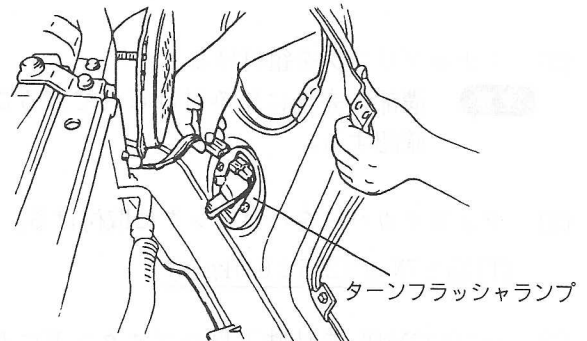
- (1) フロントフードを開ける。
- (2) フロントグリル取付部を外す。
(6mm ボルトスクリュー 4ヶ所及びタッピングスクリュー 4ヶ所)



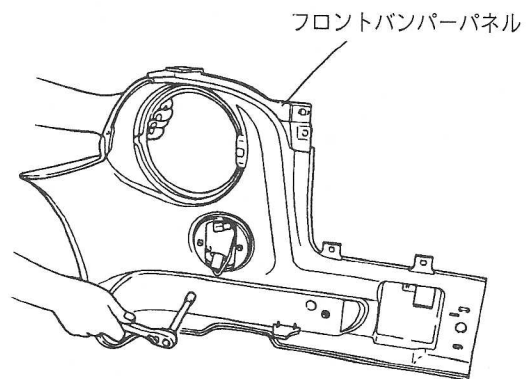
- (3) フロントバンパーパネルを取外す（片側）。
・上側：2ヶ所、中央：2ヶ所、下側：1ヶ所、
サイド：1ヶ所



- ・ターンフラッシュランプのハーネスコネクタを外す。



- (4) フロントバンパーパネルよりメッキモールを取外す。（取付ボルト 2ヶ所）



<取付け>

取外しの逆手順で行う。

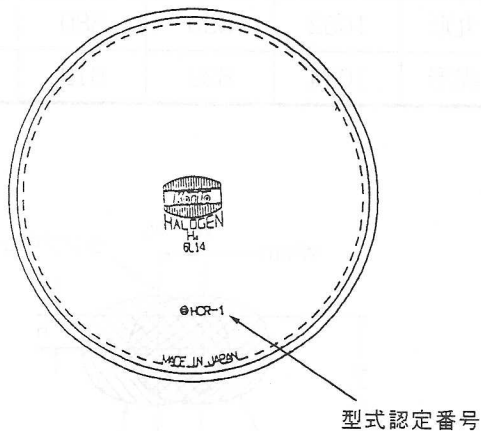
6-3 ボディーエレクトリカル

[1] ランプ ■概要

- ・新保安規準対応を実施しました。(平成7年運輸省令第66号)
丸型ヘッドランプ及び異形ヘッドランプの型式認定品を追加設定した。
(レンズの改修、およびレンズへ型式認定番号追加)

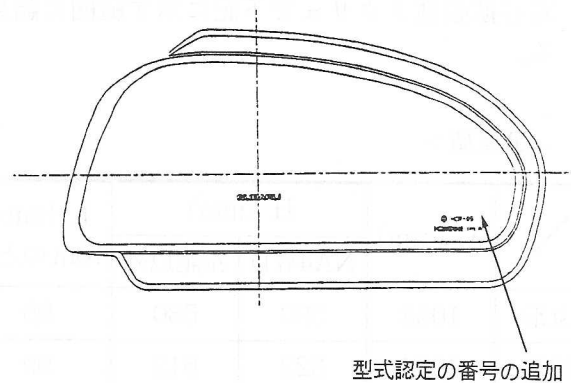
丸型ヘッドランプ

<追加品>

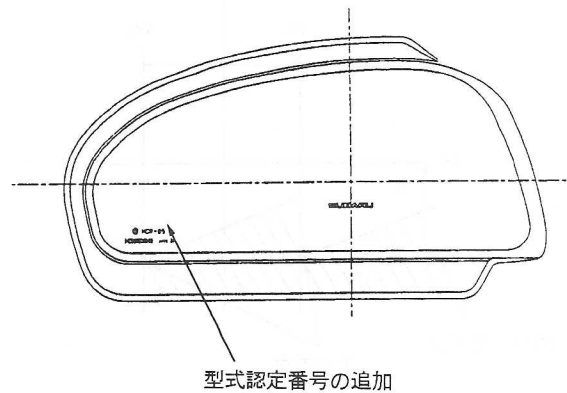


異形ヘッドランプ

<右側>



<左側>



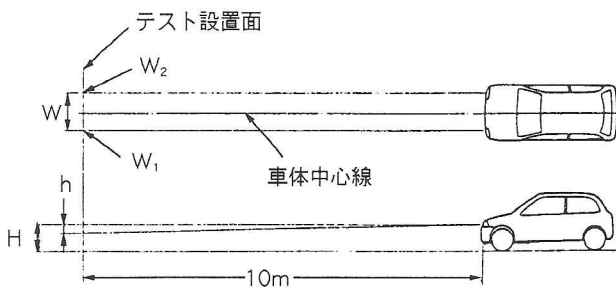
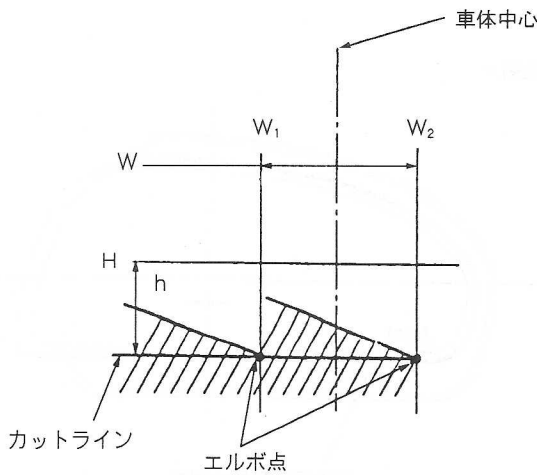
■整備要領

ヘッドランプ光軸調整

- ・すれ違いビームと、走行ビームは別々に調整する。
- ・すれ違いビームの調整要領
 - (1) タイヤ空気圧を規定値に調整する。
 - (2) 車両とテスターを水平面に置く。
 - (3) 空車状態（工具、スペアタイヤ積載、燃料タンク満タン）の車両に運転者1名が乗車する。
 - (4) すれ違いビームを点灯し、調整スクリュ、上下、左右拡張性スクリュで下記に示す範囲に調整する。

<調整値>

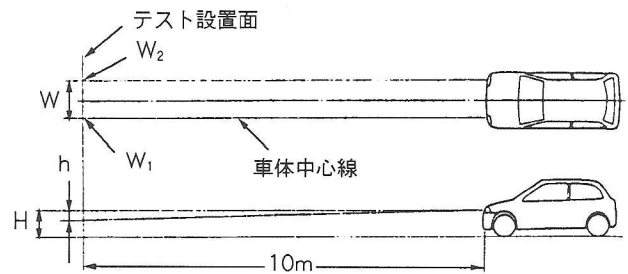
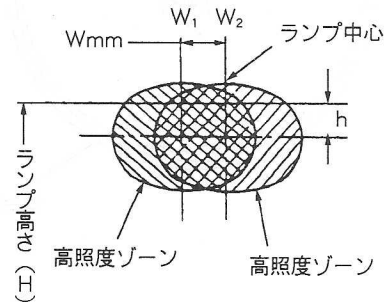
	W (mm)	H (mm)		h (mm) 10m のとき
		NA4WD	左記以外	
丸形	1052	590	580	99
異形	1054	622	612	99



- ・走行ビーム（従来の基準対応）
調整スクリュで下記に示す範囲に調整する。

<調整値>

	W (mm)	H (mm)		h (mm)
		NA4WD	左記以外	
丸形	1052	590	580	60
異形	1054	622	612	60

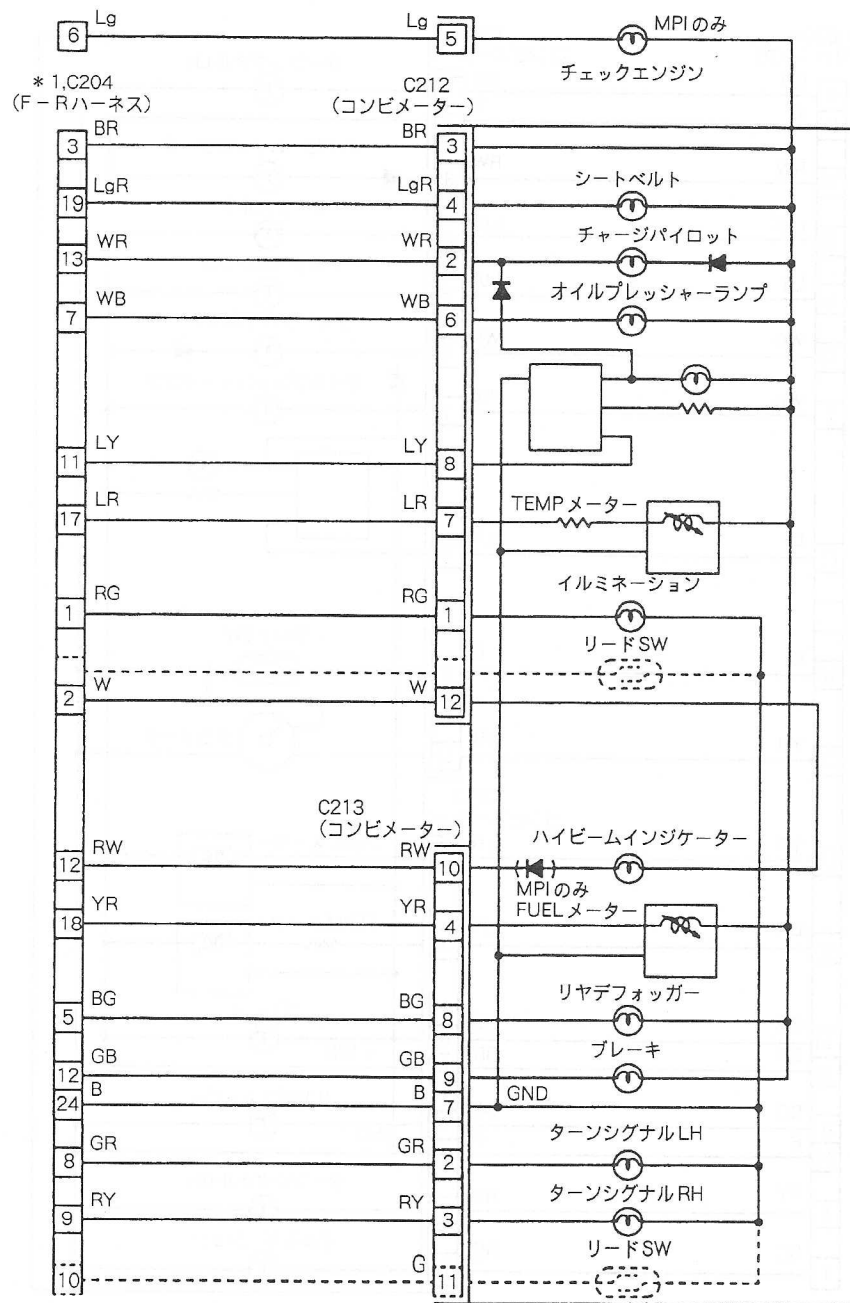


<参考>

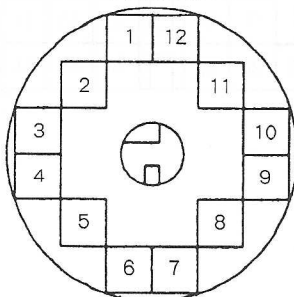
- ・新基準対応のヘッドランプ光軸調整は「すれ違いビーム」法に移行している。
- ・「走行ビーム」は「すれ違いビーム」調整後必ず確認をしておくこと。

6-4 電気配線図

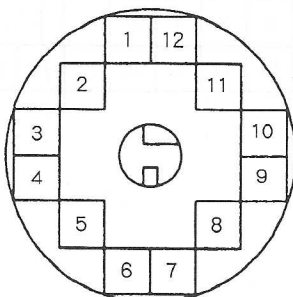
■コンビネーションメーター（タコメーターなし）



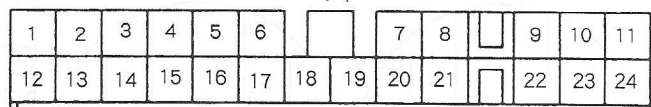
212.(クロ)



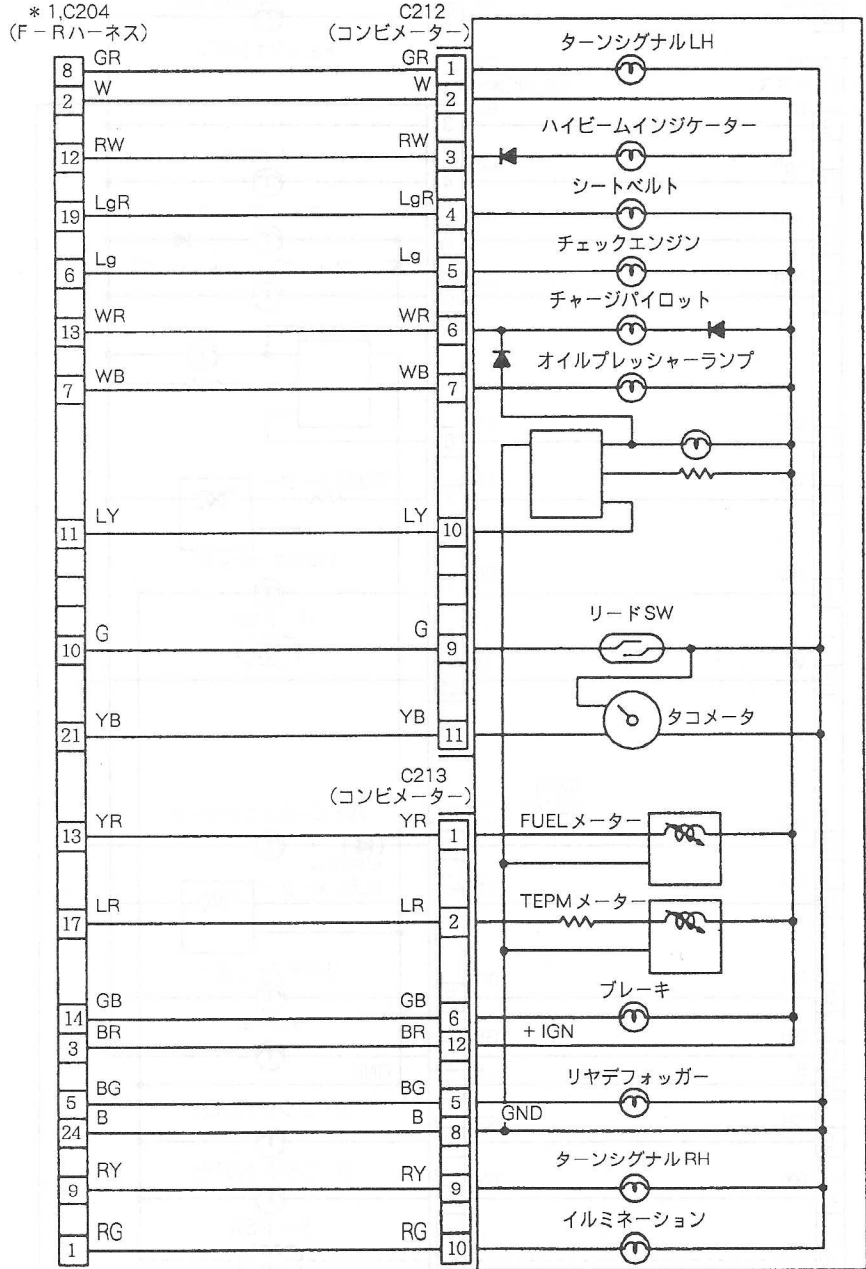
213.



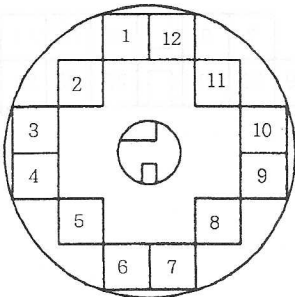
204.



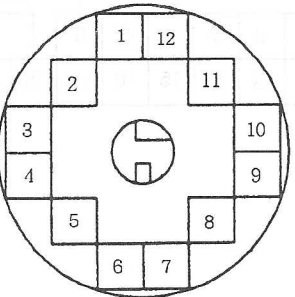
■コンビネーションメーター（タコメーターつき）



212, (クロ)



213,



204,

